



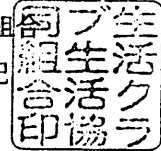
陳情書第 14号 持参

2022年10月20日

住所:守山市水保町1172-1

生活クラブ生活協同組

理事長 秋久保 由紀



栗東 議会議長 様

食の安全を守るため、小学校にてゲノム編集トマト苗を受け取らないことを求める陳情/請願

日本政府は2019年より、ゲノム編集技術を使って作られた食品のうち別の生物の遺伝子が挿入されていないものについては、何の規制もなく生産・流通することを認め、開発企業に対しては自主的な「届出」を求めるにとどまっています。2019年10月から届出の受付を開始し、2020年12月、筑波大学発のベンチャー企業サナテックシード(株)の GABA 高蓄積(通常の約5倍)トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の届出が政府に受理されました。GABA(γアミノ酪酸)は、血圧抑制効果のあると言われるアミノ酸です。このトマトは、GABA 合成酵素(タンパク質)の自己制御のはたらきをゲノム編集技術を使って破壊し、常時活性化することによってGABA 増量しています。2021年春には、市民4,000人に苗が無償配布されました。

このトマトは、別の生物から遺伝子を組み込まないことから従来の品種改良と変わらないとされており、表示義務がありません。しかし、遺伝子の特定の場所を切断するゲノム編集で作出されており、遺伝子を人為的に操作すること自体に疑問がぬぐえません。食品同様、タネや苗にも表示義務がないため、家庭菜園などで知らない間にゲノム編集されたものを使用する可能性があり、食品流通のすべての過程で遺伝子操作の有無を判別することは難しくなっています。

生活クラブ生協では、多角的かつ長期的なリスクに関する情報が十分に公開されることなく、ゲノム編集食品の経済効果だけを重視した商業化と、それを後押しする行政対応が進められていることに危機感を持っています。

パイオニアエコサイエンス(株)は、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の苗を2023年に小学校へ配布する計画を発表しています。

ゲノム編集作物を栽培することで、周辺で交雑が進み、環境に影響を与えかねません。また、安全性が確認されていない食品を、未来をつくる子どもたちに食べさせることは許されないと考え、生活クラブでは、各自治体の教育委員会に対して、ゲノム編集苗を受け取らないように要請します。

◆要請事項

1. 福祉施設や小学校へのゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の苗無償配布に反対し、受け取らないでください。

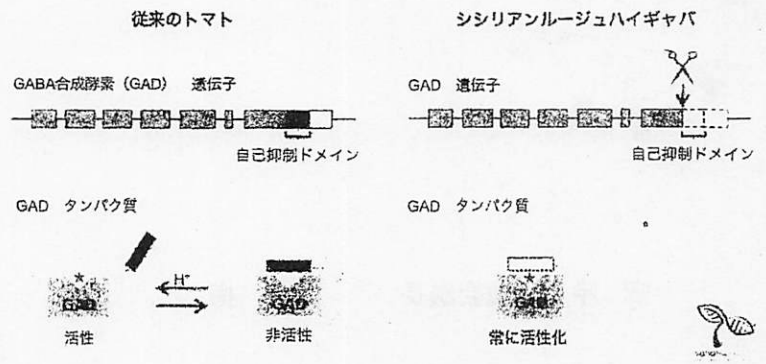
以上

小学校に苗が配布されようとしているゲノム編集トマトって何だろう？

2020年12月、筑波大学発のベンチャー企業サナテックシード株式会社のGABA高蓄積（通常の約5倍）トマト「シシリアンルーシュ ハイギャバ」の届出が政府に受理されました。GABA（γアミノ酪酸）は、血圧抑制効果のあると言われるアミノ酸です。

トマトはもともと、GABAの合成を自己制御する仕組みを持っていますが、GABA高蓄積トマトは、自己制御のはたらきをゲノム編集技術で破壊することによってGABA増量しています。

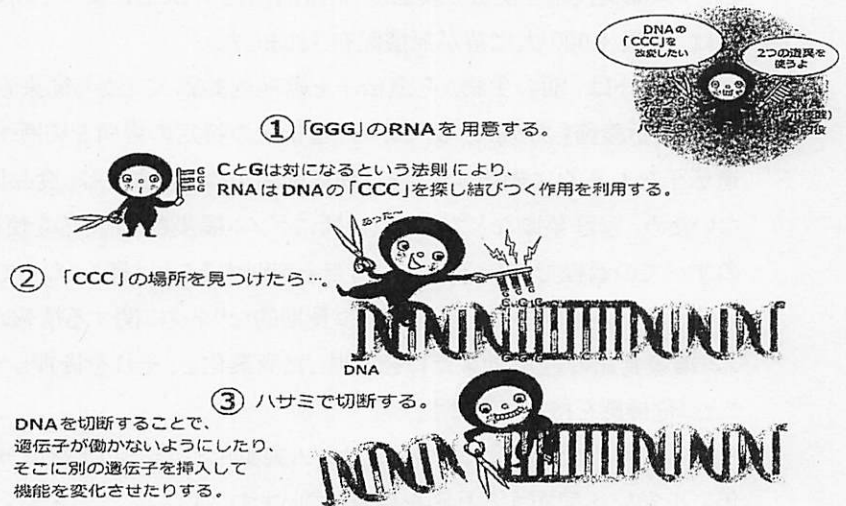
このトマトは、別の生物から遺伝子を組み込まないことから従来の品種改良と変わらないとされており、政府への届出は求められているものの何の規制もなく、表示義務もありません。しかし、遺伝子の特定の場所を切断するゲノム編集で作出されており、遺伝子を人為的に操作すること自体に疑問がぬぐえません。また「GABAを取りすぎても大丈夫なのか」という問題もあります。



サナテックシード社ウェブサイトより

●クリスパーキャス9 (ナイン) とは

ゲノム編集技術にはいくつかの方法がありますが、現在、「クリスパーキャス9」と呼ばれる技術が広く使われています。この技術は遺伝子を操作したい箇所を探す案内役のRNA (リボ核酸) と、ハサミ役となる酵素の2つの道具を使って、該当する部分を切断し、DNAが持つ修復機能を利用してつなぎ直す技術です。GABA高蓄積トマトでもこの手法が使われています。GABAの合成を自己制御する部分を切断しているのです。



●オフターゲット効果の懸念

ゲノム編集では、目的の遺伝子以外のDNAを切断したりする「オフターゲット」や目的としていない文字列を偶然取り込んでしまう場合など、意図しない改変を起こすことがあります。これらの意図しない改変が起こるとタンパク質が変質する可能性があり、その毒性やアレルギーの発生が懸念されています。安全性に懸念が残る食品を、小学生に栽培させたり、食べさせたりしてほしくありません。

生活クラブのゲノム編集食品に対する見解はこちら



●問合せ先：生活クラブ生活協同組合 電話 077-584-2022

サステイナブルなひと、生活クラブ